

重点施策 15 図書館の蔵書及び機能の充実

【施策方針】

地域文化の創造・発展に寄与するとともに、誰でも気楽に利用できる図書館を目指し、機能と経営の充実を図る。市民の読書意欲に応え、教養が深まる読書活動を推進する。

【実施状況】

(1) 主な施策・事業

- ① 図書館資料の整備及び充実
- ② 読書活動の推進及び読書団体等の育成
- ③ サービスの充実

(2) 主な施策・事業の実施状況

① 図書館資料の整備及び充実

図書館は、蔵書の充実が最優先課題である。予算編成時に、蔵書購入費用が削減の対象とならないように財政部門に対して説明している。

蔵書の選択については、図書館流通センターから出される新刊リスト、ベストセラー、市民からのリクエストにより決定した。

② 読書活動の推進及び読書団体等の育成

ボランティアグループによるおはなし会、子育てサロン・保育所・小中学校への読み聞かせ訪問、図書館いこいこ！事業、出張図書館など各機関と連携して読書活動を推進した。おはなしボランティア養成講座については、新型コロナウイルス感染拡大防止のため延期した。

③ サービスの充実

図書館のコンピュータシステムを適切に維持管理し、利便性を確保した。

予約・リクエスト・相互貸借・レファレンス(調査)などのサービスを迅速に実施した。

老朽化した移動図書館車両を更新した。令和4年度からステーションの見直しを行い、保育所や幼稚園、小・中学校なども含め運行する予定。

【事務事業点検評価委員意見】

- 図書館には、様々な種類の本があり、読みたかった本に出会うと、胸がわくわくする。大人も子どもも、図書館で一生忘れることのない一冊に出会うことも多い。八幡浜・保内図書館とも、蔵書がとても充実している。今後も、予算確保に努め、新刊・ベストセラー、児童書などを揃え、大勢に喜んで利用される図書館であってほしい。
- 子どものときの本との出会いは、大変重要で一生心の支えとなる。しかし、最近は、本の

良さを知らず、ゲームに時間を費やしている子どもも多い。本の世界に浸る楽しさを子どもたちにぜひ知ってほしい。本に親しむためにも、読み聞かせのボランティアグループの活動や読書活動事業の推進など、今後も、しっかりと支援してほしい。

- コンピュータシステムを活用したサービスについては、今後ますます必要となってくる。スマホなどの利用サービスも充実して、利用者が便利に本を借りられる仕組みを広げてほしい。移動図書館車両の更新により、一層利用が増えるものと思われる。

【自己評価】

- 市民が必要とする知識や情報を、必要な時に適切に入手できるよう、蔵書や図書館サービスの更なる充実に努めたい。
- おはなし会、子育てサロン・保育所・小中学校への読み聞かせ訪問、みかんぼんぼん文庫、図書館いこいこ！事業、出張図書館など各機関と連携して読書活動を推進したい。読み聞かせボランティア団体との連携をさらに深め、活動が継続できるよう今後も支援していきたい。ブックスタート事業やセカンドブック事業は、保護者が子どもに読み聞かせする機会となるため今度も継続して実施し、読み聞かせの啓発に努めたい。
- コンピュータシステムを活用したサービスについては、広報や図書館内の案内等により、利用者に対して周知したい。移動図書館車両の更新に伴い、令和4年5月からステーションの見直しを行い保育所や幼稚園、小中学校、放課後児童クラブ、公民館を巡回するようにした。5月から9月末実績で、昨年1年間の利用者数比の6倍以上、貸出冊数が2.5倍と急増した。